

会報

NEWS
LETTER

春季号 49巻2号
令和5年4月 **No.2**

紙リサイクルにもっとたくさんの方が参加する土台づくり。



Topics

- 令和5年度 事業計画及び収支予算
- 全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2022
審査結果・表彰式
- ものづくり力交流フェア 出展報告（静岡地区）



公益財団法人 古紙再生促進センター

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

目次

P 2 理事会報告

令和5年度 事業計画および収支予算

P 8 活動報告 本部

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022
審査結果・表彰式

P 20 活動報告

ものづくり力交流フェア出展報告

P 22 センター日誌

センター日誌 令和5年1月～3月分



令和5年度 事業計画

令和5年度の紙・板紙内需予測（日本製紙連合会）は前年比で紙△5.0%、板紙+0.7%と発表され、これに伴う古紙回収量の微減が見込まれますが、回収量の減少に歯止めがかからない状況が続いています。一方、本年の世界経済は減速感が根強く、物価高、金利上昇、ウクライナ侵攻による一連の混乱に直面して不透明感が増している状況です。今後、国際的なリサイクル資源循環は更なる変化が予想され、我が国の紙リサイクルもパラダイムシフトの渦中にあります。行政、製紙業界、古紙業界、回収業界などステークホルダーの方々とのコミュニケーション強化を図り、様々な社会動向に適應する持続可能な紙リサイクルシステムの維持、向上を目指してまいります。

事業計画策定の基本スタンス

- 令和6年に創立半世紀の節目を迎えるセンターは、4大事業 ①古紙安定対策 ②広報 ③調査研究 ④紙の資源リサイクル安定化対策 を軸に、古紙を取り巻く構造的変化やウイズコロナにおける事業運営の在り方を追求します。
- 創立半世紀を控え、中長期を視野に入れた国内・世界の古紙需給シナリオ作り、提言作りを加速させると共に、ステークホルダーの皆様と将来像を共有し、対応を考える風土と機会を創造します。
- SDGsと紙リサイクル及びセンター事業との関わりを周知すべく、あらゆる機会を捉えた啓発を通じ、関係者の自分事としてSDGsの理解向上に努めます。
- 増加する「雑がみ」、品質低下する「雑誌」に対する分別啓発はもとより、可燃ごみ削減を通じた脱炭素化の流れの中で、現在ゴミ化、焼却されている古紙をいかに掘り起こし、用途を確保すべきなのか、基礎調査を進めます。
- サプライチェーンの脱炭素化における紙リサイクルの位置付けについて、需給両業界の理解向上を図り、GHGの定量把握に係る支援を検討します。

1. 古紙品質安定対策事業

古紙品質の維持向上を図るため古紙品質調査及び情報共有を継続し、「個別品質対策」では必要に応じ、関連団体との連携を図ります。

(1) 古紙品質調査事業

全国の製紙メーカーの協力の下、古紙開梱組成調査を実施します。

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

全国展開した古紙品質情報ネットワークを通じ、製紙工場での品質トラブル情報を他社工場、古紙問屋へ伝達、情報共有を図ります。

(3) 個別古紙品質対策

4大禁忌品である「昇華転写紙」、「感熱性発泡紙」、「ロウ引き段ボール」及び「臭いのついた紙」の混入防止等、禁忌品対策を実施します。また、一般住民への啓発など必要に応じ、地方自治体を含め関係団体との連携を図ります。

2. 広報事業

地方自治体職員や未来の紙リサイクル促進を見据えた小中学生を対象に啓発や情報発信に努め、対面型・オンライン型のハイブリッド事業により、従来カバーできなかった地域での事業拡大を進めます。

また、『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、継続して応募点数の増加等、さらなる内容の充実を図ります。

(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル研修会

地方自治体と連携し、集団回収実施団体代表者や事業者等を対象に紙リサイクルに関する研修会を対面型及びオンライン型にて実施します。

また、全国自治体の新人廃棄物担当者を対象にオンラインでの研修会を昨年度に引き続き実施します。

2) 紙リサイクル出前授業

小学校を中心に、対面型及びオンライン型での出前授業を積極的に拡大します。また、講師の確保など授業提供体制の拡充を図ります。

3) 地域広報活動

コロナ影響を踏まえつつ、各地域にて開催される紙リサイクルイベントへの参加等、紙リサイクル啓発のための広報活動を実施します。

4) 紙リサイクルセミナー

毎年開催の紙リサイクルセミナーを、10月12日（木）に開催予定。ライブ配信、録画

配信を実施、ステークホルダーに広く周知します。

5) 啓発資料等の配布

紙リサイクル啓発のためのリーフレット等を提供するとともに、会報及び“古紙ハンドブック 2023”並びに“自治体向け紙リサイクルハンドブック”を発行し、業界関係者・自治体等に配布します。

6) 紙リサイクルコンテスト

15回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2023」を通じ、作文・ポスターの優秀作品を選定・表彰、応募点数の増加等、内容の充実に努めます。

7) 未利用古紙掘り起こし・品質確保等の啓発 他

SDGsと紙リサイクル及びセンター事業との関わりについて周知活動を継続します。また、禁忌品見本帳の追加作成、行政及び集荷業者等への配布により、自治体との関係強化にも繋がります。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

紙リサイクル推進に貢献されてきた集団回収実施団体に対する顕彰を継続します。

2) グリーンマーク

古紙利用製品の認識向上及び利用拡大を図るため、グリーンマークの普及に努めます。

3. 調査研究事業

国内では古紙発生構造の変化や、各地方自治体のリサイクル変化等につき調査を行い、海外では製紙・古紙業界関係者との交流や調査事業についてウイズコロナにおける在り方を検討します。

(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

自治体の雑がみ排出区分・排出方法や可燃物の中のリサイクルできる紙量などのデータ収集・整理を行い、雑がみ流通の実態把握に努め、また消費者の雑がみ認知度等に関する意識調査を実施します。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

全市区町村（約 1,700）に対し、古紙回収量や紙リサイクル施策の変化等について調査を実施します。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材を注視していきます。

4) 未利用古紙の回収ネットワーク構築

ウイズコロナにおける、ステークホルダーの実状や課題を調査し、未利用古紙の回収ネットワーク構築を目指します。

5) 外部委員会 他

経済産業省によるインドでの紙リサイクルシステム構築支援事業フォローや、紙製容器、牛乳容器関連協議会への情報提供を行います。

(2) 海外市場調査

国際資源循環の変化に対応し、海外の製紙・古紙業界関係者との古紙をキーワードとしたオンライン交流を検討します。

(3) 統計調査

国内外における古紙需給統計等を収集し取りまとめを行い公表します。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

少子高齢化に伴う人口構造変化、都市集中・地方過疎化、デジタル化が進み、また世界的にはサーキュラーエコノミーを始めとした循環経済推進のうねりが高まる中、国内外の中長期的な課題整理に向けて活動します。

また、業務委員会、国際委員会、家庭紙委員会、各地区委員会においては、紙リサイクル維持等に向けて活発な委員会を開催します。

(1) 古紙余剰対策事業

1) 紙リサイクル維持対策（備蓄事業）

紙リサイクルシステム維持のため、余剰が生じた場合の対策を講じます。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外調査研究

日本の紙リサイクル安定化のため、中長期的な世界の紙・板紙及び古紙市場の動向等について調査します。

2) リサイクル方法の調査研究

古紙の製紙原料以外の用途に関する調査を実施します。

3) 紙リサイクルの維持

創立 50 周年の節目に向けた中長期的・持続的な紙リサイクルの課題整理の取りまとめを進めます。サプライチェーンの脱炭素化における紙リサイクルの位置付けについて、需給両業界の理解向上を図り、GHGの定量把握に係る支援を検討します。

5. その他の事業（地区委員会活動事業）

全国8地域の委員会において、各地域の独自性を考慮し、ウイズコロナにおける各地域に応じた研修会等の事業を実施します。

収支予算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
特定資産運用益	1,048,000	48,000	1,000,000
運用財産受取利息	1,048,000	48,000	1,000,000
受取会費	227,900,000	228,100,000	△ 200,000
賛助会員受取会費	227,900,000	228,100,000	△ 200,000
事業収益	1,000,000	136,300,000	△ 135,300,000
紙の資源リサイクル安定化対策事業収入	1,000,000	136,300,000	△ 135,300,000
受取寄付金	750,000	600,000	150,000
受取寄付金	750,000	600,000	150,000
雑収益	300,000	300,000	0
雑収入	300,000	300,000	0
経 常 収 益 計	230,999,000	365,349,000	△ 134,350,000
(2) 経常費用			
事業費	214,597,000	340,545,000	△ 125,948,000
役員報酬	20,703,000	20,703,000	0
給料手当	47,771,000	47,392,000	379,000
福利厚生費	9,927,000	10,004,000	△ 77,000
役員賞与引当金繰入額	2,714,000	2,714,000	0
賞与引当金繰入額	3,836,000	3,726,000	110,000
役員退職慰労引当金繰入額	2,396,000	2,396,000	0
退職給付費用	1,636,000	1,508,000	128,000
古紙購入代金	1,000,000	136,300,000	△ 135,300,000
会場費	3,742,000	1,797,000	1,945,000
資料作成費	1,391,000	9,190,000	△ 7,799,000
啓発活動費	3,570,000	3,370,000	200,000
広告料	0	0	0
システム費	3,364,000	700,000	2,664,000
委託費	42,095,000	44,034,000	△ 1,939,000
会議費	122,000	300,000	△ 178,000
旅費交通費	9,096,000	4,650,000	4,446,000
通信運搬費	4,520,000	4,389,000	131,000
減価償却費	1,285,000	2,450,000	△ 1,165,000
消耗品費	2,639,000	3,441,000	△ 802,000
印刷製本費	14,746,000	4,123,000	10,623,000
新聞図書費	2,467,000	1,183,000	1,284,000
水道光熱費	1,103,000	1,054,000	49,000
賃借料	25,910,000	25,766,000	144,000
諸会費	454,000	454,000	0
諸謝金	270,000	1,080,000	△ 810,000
租税公課	6,000	6,000	0
支払手数料	24,000	25,000	△ 1,000
雑費	20,000	0	20,000
地区事業費	7,790,000	7,790,000	0

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
管 理 費	24,757,000	33,474,000	△ 8,717,000
役員報酬	1,800,000	1,800,000	0
給料手当	3,872,000	3,962,000	△ 90,000
福利厚生費	1,007,000	1,070,000	△ 63,000
役員賞与引当金繰入額	236,000	236,000	0
賞与引当金繰入額	551,000	574,000	△ 23,000
役員退職慰労引当金繰入額	208,000	208,000	0
退職給付費用	229,000	202,000	27,000
会場費	0	93,000	△ 93,000
広告料	180,000	180,000	0
システム費	256,000	3,433,000	△ 3,177,000
委託費	388,000	4,384,000	△ 3,996,000
会議費	5,390,000	5,553,000	△ 163,000
旅費交通費	544,000	1,634,000	△ 1,090,000
通信運搬費	173,000	181,000	△ 8,000
減価償却費	71,000	81,000	△ 10,000
消耗品費	159,000	128,000	31,000
印刷製本費	11,000	12,000	△ 1,000
新聞図書費	22,000	23,000	△ 1,000
水道光熱費	107,000	108,000	△ 1,000
賃借料	2,480,000	2,598,000	△ 118,000
諸会費	1,283,000	1,283,000	0
諸謝金	4,956,000	4,956,000	0
租税公課	43,000	43,000	0
支払手数料	428,000	428,000	0
雑費	363,000	304,000	59,000
経 常 費 用 計	239,354,000	374,019,000	△ 134,665,000
当期経常増減額	△ 8,355,000	△ 8,670,000	315,000

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益

経常外収益計	0	0	0
--------	---	---	---

(2) 経常外費用

経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,355,000	△ 8,670,000	315,000
一般正味財産期首残高	2,450,886,000	2,476,397,000	△ 25,511,000
一般正味財産期末残高	2,442,531,000	2,467,727,000	△ 25,196,000

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

III 正味財産期末残高	2,442,531,000	2,467,727,000	△ 25,196,000
---------------------	----------------------	----------------------	---------------------



全国小中学生



“紙リサイクル”コンテスト 2022 審査結果・表彰式

「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト」は、全国の小中学生から紙リサイクルに関する活動やアイデアをテーマとした作文・ポスターを募集し、優秀な作品の作成者を表彰するもので、平成21年度から実施し、今回で14回目の開催となりました。全国各地の小中学生から多数の応募をいただき、応募点数は過去最高に次ぐ3,273点（応募校：172校）となりました。都内ホテルで受表彰式を開催しましたのでご紹介します。



全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2022 表彰式 全体記念写真

“紙リサイクル”コンテスト 2022 表彰式の様子

表彰式は3月4日（土）にホテルメトロポリタンエドモントにて3年ぶりに開催しました。表彰式では受賞者に対して、主催者・後援団体から表彰状・副賞・記念楯が贈呈されました。また、各受賞者に作品制作の意図や受賞を知った時の喜びの声についてインタビューを行いました。受賞者からは「コンテストの応募を通じてより一層紙リサイクルへの理解が深まった」、「自ら行動して他の人に働きかけることでリサイクルの輪を広げることができた」など次世代を担う小中学生の力強いコメントをいただきました。



受賞者へのインタビュー

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2022 入賞者一覧

応募総数：3,273点（応募校数：172校）

【文部科学大臣賞】

部 門	都道府県	学校名	学年	氏 名	タイトル
作文部門	福岡県	明治学園小学校	3	能 美 にな	みんなで目指そう！ 紙リサイクル優等生！
ポスター部門	愛知県	刈谷市立依佐美中学校	1	江 坂 蒼 依	地域みんなで古紙回収！！

【金賞】

部 門	都道府県	学校名	学年	氏 名	タイトル
作文	小学生部門	長野県 松本市立芳川小学校	6	小 室 凉 花	紙リサイクルは私の夢
	中学生部門	静岡県 静岡市立蒲原中学校	3	栗 原 微 始	自分から“やる”リサイクル
ポスター	小学生部門	千葉県 船橋市立中野木小学校	4	須 山 柚 葵	聞いて！ぼくたちの声！
	中学生部門	佐賀県 佐賀県立武雄青陵中学校	3	原 田 彩 結	紙リサイクルでまた活きる

【特別金賞】

部 門	都道府県	学校名	学年	氏 名	タイトル	
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	東京都	国立筑波大学附 属小学校	4	藤 本 怜 央 菜	リサイクルと節水の両立	作文
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	千葉県	千葉市立葛城中 学校	3	山 口 愛 理 沙	今、自分にできること	作文
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	宮城県	紫山こども絵 画・造形教室	2	千 葉 結 奈	また 会おう	ポスター

【銀賞】

部 門	都道府県	学校名	学年	氏 名	タイトル
作文	小学生部門	福岡県 明治学園小学校	4	野 入 桃 子	古紙を生かす ～紙リサイクルの大切さ～
	中学生部門	宮城県 気仙沼市立松岩中学校	3	佐 藤 里 桜	続けること 伝えること
ポスター	小学生部門	東京都 世田谷区立山崎小学校	4	中 山 鼎	ありがとう また 紙になれたよ
	中学生部門	宮城県 石巻市立青葉中学校	3	佐々木 恋海	生まれ変わる資源 ～新聞から絵本へ～

【銅賞】

部 門	都道府県	学校名	学年	氏 名	タイトル
作文	小学生部門	三重県 てら小屋遊学舎	4	佐 野 雫	みんなで協力 紙リサイクル
		東京都 品川区立大井第一小学校	5	上 利 遥	未来に届け
		岐阜県 羽島市立竹鼻小学校	5	浅 野 智 恵	生まれ変わるなら、 生きているうちに！
	中学生部門	三重県 てら小屋遊学舎	2	鈴 木 結 菜	私と母とリサイクル
		東京都 学習院女子中等科	2	南 明 希	リサイクルする社会へ
		静岡県 静岡市立蒲原中学校	3	清野 日菜子	リサイクルの輪の一員として
ポスター	小学生部門	東京都 品川区立小山小学校	1	大 岡 晃 平	かみをリサイクルしよう
		愛知県 幅下幼稚園・絵画教室	6	奥 村 優 月	大切な資源を紙リサイクル で新しく
		愛知県 豊川市立牛久保小学校	6	小 林 柚 菜	変身！！リサイクルレン ジャー
	中学生部門	青森県 弘前市立第三中学校	2	一 戸 彩 乃	リサイクルは持続可能な 社会のピース
		兵庫県 小林聖心女子学院中学校	2	山 縣 真 帆	リサイクル家系図
		埼玉県 さいたま市立大宮南中学校	3	北 沢 心 都	待って！捨てないで

【学校特別賞受賞校】

区 分	都道府県	学校名	継続応募年数
中学校	愛知県	刈谷市立依佐美中学校	11年

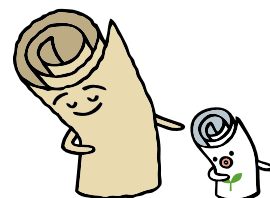
【学校奨励賞受賞校】

部 門	都道府県	学校名	応募点数
小学校部門	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	268点
中学校部門	福島県	白河市立白河中央中学校	450点

第14回目となった2022年度は全国から

3,273点 もの応募がありました。

応募いただいた児童・生徒の皆様、学校の先生方、保護者の
皆様、ご応募いただき誠にありがとうございました。



文部科学大臣賞 作文部門

みんなで目指そう！紙リサイクル優等生！

明治学園小学校 3年 能美 にな

コロナかももう三年。インターネットでの買い物が多くなり、家に段ボールがふえた。それをまとめてリサイクルに出すのは、私の役わり。段ボールにふれる機会もふえた。

ある日、ほとんどの箱に見たことのない同じマークがついていることに気がついた。広げた箱のまわりを矢印が一周している。調べてみると、これは段ボールのリサイクルマーク。なんと世界共通のマークだ。あらためて見ると、たしかに海外から届いた段ボールにも同じシンボルマークがついていた。段ボールは段ボールに生まれ変わる。95%以上が回収され、原料の90%以上は古紙だ。かぎられた資源をむだにしない、まさにリサイクルの優等生。このシンボルマークは世界が一丸となってリサイクルに取り組んでいる証なのだ。

リサイクルできる紙は段ボールだけではない。新聞紙、雑誌、雑がみ、紙パックなど、これらは全て「古紙」と呼ばれる資源だ。古紙回収率を調べると、世界の平均が60%ほどなのに対し、日本は80%以上とひ常に高い。また古紙利用率も世界平均を上回っている。日本はまさに紙リサイクル優等生だったのだ。

この紙リサイクル優等国である日本の中で、さらに私にできることは何だろう。去年、自分のまわりの人50人以上からアンケートをとった。その結果、紙リサイクルの知しきはあっても実際の行動にうつせていない人が多かった。リサイクルの仕組みや知しきがあるのに、正し

く使わなければもったいない。それならばリサイクルを実際にそして簡単にできるような仕組みがあるとよい。ではわが家ではどうだろう。紙リサイクルのために専用の置き場があるのは、新聞紙や雑誌、紙パック、段ボールだ。なんと雑がみだけ専用の置き場がない。そこで「雑がみ入れ」を作った。大きめの紙ぶくろを用意。貴重な資源をうっかりごみにしてしまわないよう、ふくろはごみ箱の近くに置く。すると一週間もたたないうちに雑がみ入れはいっぱい。そういえば、雑がみの6わりがもえるごみとして出されていると聞いたことがある。若い人ほどごみとしてすてているとも。母に聞くと、たしかに雑がみ入れを作ってからわが家の家庭ごみの量もへったらしい。簡単な工夫でこんなにもかわるのだ。今までいかに多くの資源をごみにしてしまっていたのかと反省した。考えてみると、コピー用紙やおかしの箱など私たち子どもは雑がみと接することが多い。私たち若い世代が雑がみを資源ととらえることが、より紙リサイクルをすすめるカギなのかもしれない。学校でも雑がみ入れを作ったらどうかな。きっとたくさん集まるはずだ。

一人一人が紙リサイクルを理解し、協力して、行動しよう。この紙リサイクル優等国の日本でさらに力を合わせよう！みんなで目指そう！紙リサイクル優等生！

文部科学大臣賞 ポスター部門

地域みんなで古紙回収！！

刈谷市立依佐美中学校 1年 江坂 蒼依



金賞 作文小学生部門

紙リサイクルは私の夢

松本市立芳川小学校 6年 小室 涼栞

私は今、学校でリサイクル委員長をやっている。三年生の時、社会の授業で初めて「リサイクル」というものを知った。それまで聞いたこともない言葉だったので、少し興味があった。学習が進んで、リサイクルにはどんな目的があり、そのためにどんなことをしているかなんとなく分かった。

そして四年生のとき、リサイクル委員会に入り、もう一度リサイクルについて教えてもらった。三年生の時より理解ができて、自分のリサイクルへの思いも変わった。「リサイクルっていう活動があって、ゴミを減らすために協力した方が良いんだな。」くらいにしか三年の時は思っていなかったけど、「自分も協力しよう。」と思うようになった。

委員会では、牛乳パックを回収して資源ゴミとしてリサイクルしてもらおう、という活動をしていて、リサイクル活動に協力しているという実感が湧いた。それによって日常生活でもリサイクルの意識が高まり、資源ゴミを分別したり、できるだけきれいにしてリサイクルしやすいようにしたりするようになった。

そして五年生になり、おどろくことにまたリサイクル委員会に入ることになった。ジャンケンで負けたのだ。でも、二年目となると少しずつ愛着が湧いてきて、しかも丁度SDGsに興味を持ち始めた時だったので、リサイクルについてもっとくわしく知って、新しい活動を試してみたいと考えていた。

そして今に至る。三年目のリサイクル委員会

だが、やりたい事にチャレンジできて退屈しない。牛乳パックの回収は続けている。紙ゴミの中でも牛乳パックの量は多いと思うし、それを全部可燃ゴミとして処分した場合、埋め立て地に灰が積もり続けて、埋められる土地がなくなってしまうかもしれない。空気が汚れて環境汚染につながってしまうかもしれない。だから、牛乳パックを集めている。少しでも紙ゴミの削減にこうけんできていれればいい。とはいえ、牛乳パックを持って来てくれる人はとても少ない。リサイクルへの意識がうすいからだ。前にニュースでリサイクルの取り組みについて紹介していて、

「一人一人が意識して協力することで、リサイクルできるゴミの量が更に増えるんですね。」

と言っていた。私も同感だ。一部の人だけじゃなく、周りの人を引き込む力が必要なのだ。

牛乳パックを持って来てくれる人から意識を広げていくために、今後も回収を続けてほしいと思っている。

前文に書いた「周りを引き込む」ためには、楽でワクワクする活動が必要だ。例えば、集めた紙ゴミで一枚の絵を作ったり、全国規模でダンボールを集めて立体作品を作ったりして、美術館にかざる。また、紙から発生した静電気で発電するという挑戦も面白い。とても難しいことだし、今は何かを変える力はないけど、いつか実現できたら良いと思う。

金賞 作文中学生部門

自分から“やる”リサイクル

静岡市立蒲原中学校 3年 栗原 微始

私の家には、もったいないおばけが住んでいます。普段は、温厚で世話やきの母ですが、例えば私が学校でもらったおたよりを丸めて燃えるごみに捨てようものなら、どこからともなくやって来て「もったいない。リサイクルしたらまた使えるのに、もったいない。」とぶつぶつ言いながら、その紙を家のリサイクルBOXへもっていくのです。正直、「プリント一枚でおおげさな。」と思っていました。しかし、そんなもったいないおばけが居たからこそ、私は自然にリサイクルを心がけるようになったのです。

ある日の早朝。私は母に頼まれて、燃えるごみを出しに行きました。その時、同じくごみ出しに来たであろう女性と出会いました。その女性は、今日は古紙回収の日ではないのに、たくさんの古紙を持っていました。私は驚いてその女性のことを、じっと見ましたが女性は私に目もくれず、そそくさと去って行ってしまいました。燃えるごみの場所に残された古紙を見ると「あの時、声をかけれていれば。」と胸がちくりと痛みました。

あの時、私が声をかけられなかったのは、私がまだリサイクルを“やらされていた”からだと後から気付きました。私は、これまで一度も、なぜリサイクルをするのかということを考えたこともなかったのです。

私はリサイクルについてもっと知りたい、と思い母に話を聞いてみることにしました。すると母は、リサイクルをすることで多くの資源が

無駄にならずに済むこと、二酸化炭素の排出を減らすことで、地球温暖化の解決につながるなど、たくさんのことを教えてくれました。

「リサイクルをするっていうのは、地球を守ることと同じなのよ。」

私は、これまでリサイクルしてきた古紙たちの重みを感じ、少し誇らしく、何か大きなことを成しとげたような気分になりました。

あれから数日後。私がまた、燃えるごみを出しに行くと、その女性が以前と同じように古紙を捨てていました。前までの私なら、ここで何も言うことはできませんでした。けれど、今の私は違います。リサイクルすることの大切さを知り“やらされている”ではなく、自分から“やる”リサイクルができるようになりました。私は勇気を振り絞り、女性に古紙はリサイクルできることを伝えました。すると、女性はちゃんと納得して古紙を持ち帰ってくれました。

「ゴミだと思ってたこの古紙も、ちゃんと生まれ変わるんだよね。教えてくれて、ありがとう。」

当事者意識をもった、自分から“やる”リサイクルは、大切な地球を守ります。“やらされている”リサイクルは長続きしません。だからこそ、私は自分から“やる”リサイクルの輪を広げるために、色々な人にリサイクルの大切さを伝えたいと思います。また、自分もリサイクルを続けていこうと思います。

金賞 ポスター小学生部門

聞いて！ぼくたちの声！

船橋市立中野木小学校 4年 須山 柚葵



金賞 ポスター中学生部門

紙リサイクルでまた生きる

佐賀県立武雄青陵中学校 3年 原田 彩結



全国製紙原料商工組合連合会 理事長賞

リサイクルと節水の両立

国立筑波大学附属小学校 4年 藤本 怜央菜

社会科見学で清掃工場と埋立最終処分場に行った。分別できてないゴミが多いこと、最終処分場があと五十年しかもたないことが分かった。その時、もっと資源化を進める例として、牛乳パックは六枚でトイレトペーパー1つに生まれ変わると教わった。

その後、資源ゴミがそれぞれどのようにリサイクルされるのか、過程や問題点などを自分で調べてみた。すると、リサイクルできるのに、なかなか資源になれないものがあることが分かった。それは紙パックだった。

缶や段ボールは、資源化率が高いのに、紙パックはそもそも回収率が圧倒的に低い。その理由として、紙パックをまな板がわりに使ってそのまま捨てられたり、紙パック製品を多くあつかうコンビニエンスストアでは紙パックの回収をしていなかったりすることがあるようだった。それに、コロナの影響で給食用の牛乳パックをリサイクルせずに捨てている割合が増えているそう。

私の家でも、これまでは、一リットルの牛乳パックはリサイクルに出していたが、野菜ジュースや豆乳などの小さい二百ミリリットルの紙パックは洗わずに捨ててしまっていた。ちゃんとリサイクルしなくては、と反省してジュースの紙パックも洗うことにした。

すると、紙パックを洗うのに思った以上にたくさんのお水を使ってしまう。実は、ゴミの学習の前に、浄水場や水源林などの学習で、節水や川を汚さないように努力する大切さを学んだば

かりだった私は、紙パックを洗うのに、紙パックの中身以上の水を使うことに罪悪感を覚えた。牛乳十ミリリットルを川に流すだけで、その水を魚が住める環境に戻すのに浴槽一杯の水が必要なのだ。なんとか、節水をしながら紙パックのリサイクルを進める良い方法はないだろうか。それに、紙パックの飲み物を全部飲み切ったと思って開いてみると意外と残っていてがっかりすることが多い。この飲み残しをへらせないだろうか。私は、しばらくモヤモヤした気持ちでジュースの紙パックを洗った。

ある時、夏休みに奈良で五重の塔の前で咲くハスの花と撮った写真をみてひらめいた。

紙パックの内側のポリエチレンをハスの葉のように表面をでこぼこにして飲み物をはっ水させるのはどうだろう。パックの内側に今までへばり付いていたわずかなジュースもはっ水するから、飲み残しがへらせるし、洗う時も水をあまり使わずに済むはずだ。

そして、紙パックからストローを無くして直接飲めるようにすると、洗う前のストローを取る手間が省けるし、飲み残しが見えやすくなるから、さらにへらすことができそう。

紙パックをもっと洗いやすくして、回収率を上げたいし、魚が住める川も守りたい。せっかくどちらも環境に良い行動なので、上手に両立できたらとてもうれしい。

日本再生資源事業協同組合連合会 会長賞

今、自分にできること

千葉市立葛城中学校 3年 山口 愛理沙

「ティッシュの空き箱はゴミ箱じゃなくて
こっちの箱に置いておいて。」

今年、小学生の妹と母は子供会に属し廃品回収を行っている。そして、紙のリサイクルについて意識が高くなった母はやたらと私のゴミ捨てにうるさくなった。初め、私はこの分別作業が面倒くさく、積極的に協力ができなかった。

ある日、私は妹に定規を借りようと思い、妹の机へ行くと、そこには紙リサイクルについてのポスターが置いてあった。ポスターには、廃品回収で回収できる物や回収日時などがイラストつきで細かく記載されていた。このポスターをどうするか聞くと、

「この団地にある共同掲示板に貼るんだよ。最近回収量が減ってきているから。」

と妹が答えた。私は姉として古紙回収に興味を持っていなかった自分がとても恥ずかしく思え、それをきっかけに紙リサイクルについて調べてみることにした。

紙リサイクルとは一度使われた紙を繰り返し使うことで資源の有効利用ができ、森林資源の持続可能な利用に貢献する活動のことである。また、その活動は廃棄物として処理される紙の量を削減し、廃棄物減量にもつながる。日本では、古紙回収の仕組みが確立し、循環型社会に形成に大きく貢献している。

調べた後、この未来を見据えての活動に思わず「すごい」と言ってしまった。そして、家族に分別できる物とできない物を尋ねて、話し合い、新たな分別場所を設けることにした。今で

は紙を「ゴミ」と見るのではなく、どれがリサイクルできる製品なのかと注意を払って見分けるようにしている。

また、そもそも紙の廃棄量を減らすために白い裏紙を計算用紙やメモ用紙に再利用するなど身近なことで自分にできそうなことを行っている。そのことを友人に話すと、

「いいね。私もやってみる。」

と言ってくれた。このように、紙リサイクルの大切さを知った誰かがまた違う誰かに伝えていく。そして、徐々にそれぞれがそれぞれにできることをしていき、それが広まっていく。私は「塵も積もれば山となる」ということわざを思い出した。まさにその通りだ。一人一人がたとえ些細なことでも自分にできることを行えばそれは社会に大きな変化をもたらす。しかし、反対に小さなことをおろそかにすればいつかツケが回ってくるのは私達である。だから、私は今から自分のできることを行い、明るい未来に貢献したい。

段ボールリサイクル協議会 会長賞

また 会おう

紫山こども絵画・造形教室 2年 千葉 結奈



ものづくり力交流フェア 2023 出展報告

2023年2月10日、11日の2日間にわたり開催された富士市主催のイベント「ものづくり力交流フェア2023」に静岡地区委員会はブースを出展しました。

ブースでは啓発パネルを展示し、来場者に内容を説明することで禁忌品の混入防止等を呼びかけました。また、来場者に雑がみ回収袋を配布し、古紙の分別収集及び雑がみ回収を呼びかけました。

ブースには2日間で約1,600名の来場者が訪れ、分別収集の重要性やセンター活動をPRすることができました。ものづくり力交流フェア2023の様子をご紹介します。



出展ブースの様子



写真中央：小長井富士市長

Pick up!!

出展ブースには小長井富士市長もご来訪いただきました。

紙リサイクルの促進や禁忌品混入防止の啓発活動、雑がみ回収袋による雑がみ回収の促進などセンターの活動をPRすることができました。

ものづくり力 交流フェアとは



ものづくり力交流フェアは、富士市を代表するものづくり企業の技術や製品を広く発信し、新たな企業間交流やものづくりの担い手づくりに向けた産業交流展示会です。

今回のフェアでは、「ものづくり企業 約 100 社・団体」のブース展示による製品や技術のPR、ステージにおける各種講演やパネルディスカッション、学生によるブース見学ツアー等を実施し、2日間の来場者数は 3,100 人に上りました。

参加企業・団体

※敬称略・順不同

興亜工業株式会社

王子エコマテリアル株式会社

日本製紙株式会社

株式会社アカツキ

株式会社堤紙業

株式会社丸元紙業

株式会社スギヤマ紙業

三和商工株式会社

株式会社二見

株式会社丸興佐野錦一商店

株式会社市川商店

株式会社鈴剛

株式会社高野実業

シーズイシハラ株式会社

松岡紙業株式会社

公益財団法人古紙再生促進センター

センター日誌

令和5年1月～3月分

理事会報告

活動報告

センター日誌

月	日	会議名	主要議題
1月	6日(金)	新年互例会	経団連会館にて開催
	19日(木)	近畿地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②その他 今後の近畿地区委員会等の開催予定
	20日(金)	北海道地区委員会	①古紙共販集計表について ②古紙需給動向について ③古紙消費実績と計画対比表について ④令和5年1月～6月古紙消費計画について ⑤北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ⑥古紙の消費量と在庫量の推移 ⑦情報交換 ⑧その他 ・令和5年度北海道商組共販事業について ・令和5年度リサイクル・ペーパー・フェア見直しアンケートについて ・令和5年度集団回収感謝状贈呈について ・今後の北海道地区委員会等の開催予定
	25日(水)	静岡地区委員会	①雑がみ分別啓発、諸課題の対応について ②紙リサイクルに関わるGHG(温室効果ガス)について ③中長期的課題整理に向けたヒアリングについて ④古紙の需給・市況動向について 古紙の市況動向・品質状況報告 ⑤事務局からの連絡事項 ○広報事業 ・『ものづくり力交流フェア2023』への出席について ・紙リサイクル出前授業 ・集団回収実施団体への感謝状贈呈式開催報告 ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022について ○令和5年度事業計画について ○任期満了に伴う次期地区委員について ⑥その他 ・今後の静岡地区委員会の開催予定
	26日(木)	1月度常任理事会	①通常理事会の開催日時及び議案について ②集団回収実施団体への感謝状贈呈について(中・四国地区委員会からの推薦) ③集団回収感謝状等贈呈実施要領における推薦基準の改正及びコロナ禍における運用基準の変更について(2023年版) ④「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022」の応募結果について ・表書式:(予定)令和5年3月4日(土)14時 ホテルメトロポリタンエンドモント飯田橋 ⑤“紙リサイクル”コンテスト2022 学校特別賞・学校奨励賞について ⑥令和4年度第8回業務委員会議事次第について ⑦その他 今後のスケジュールについて

月	日	会議名	主要議題
1月	26日(木)	第8回業務委員会(Web会議システム併用)	①各地区の古紙需給・市況動向について ②令和5年1月～6月における段ボール、新聞、雑誌の消費計画について ③集団回収実施団体への感謝状贈呈について(中・四国地区委員会からの推薦) ④「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022」の応募結果について ・表書式:(予定)令和5年3月4日(土)14時 ホテルメトロポリタンエンドモント飯田橋 ⑤“紙リサイクル”コンテスト2022 学校特別賞・学校奨励賞について ⑥その他 ・紙リサイクルに関わるGHG(温室効果ガス)について ・今後の業務委員会等の開催予定
	31日(火)	第10回関東地区委員会(Web会議システム併用)	①古紙需給動向(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④2023年1月～6月における段ボール、新聞、雑誌の消費計画について ⑤紙リサイクルに関わるGHG(温室効果ガス)について ⑥その他 ○Webセミナー ライブ配信 2月22日(水)14:00～15:00 録画配信 2月28日(火)～3月27日(月) ・講演内容:(予定)インドネシア経済の現状と今後の見通し ・講師:日本貿易振興機構(ジェトロ) 海外調査部アジア大洋州課 課長代理 山城武伸氏 ○全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022 ・応募結果:3,273点(前年3,274点) ・一次審査会(1月13日(金))、最終審査会(1月24日(火))を実施し、受賞作品決定 ・表彰式:(予定)3月4日(土)14時00分 ホテルメトロポリタンエンドモント *懇親会はなし ○紙リサイクル出前授業 2月4日(土)足立区(あだち再生館) ○紙リサイクル研修会 2月16日(木)市川市(メディアパーク市川) ○今後の関東地区委員会等の開催予定
2月	10日(金)	中部地区委員会北陸分会	①古紙の需給・市況動向について ②集団回収感謝状贈呈団体の推薦 ③2023年度の予算(案)について ④業務委員会報告 ⑤古紙品質トラブル報告 ⑥その他 今後の中部地区委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
2月	10日 (金)	九州地区委員会	① 古紙の需給・市況動向について ② 古紙の品質問題について ③ 紙リサイクルコンテスト2022の応募結果と表彰式実施について ④ 北九州市内小学生対象の紙リサイクルバスツアー実施報告 ⑤ 令和4年度研修会実施について ⑥ 令和5年度九州地区委員推薦について ⑦ 令和5年度九州地区活動計画(案) ⑧ 令和5年度集団回収感謝状贈呈について ⑨ 海外関連トピックス ⑩ 紙リサイクルに関わるGHG(温室効果ガス)について ⑪ その他 今後の九州地区委員会等の開催予定
16日	(木)	中部地区委員会東海分会 (Web会議システム併用)	① 古紙の需給・市況動向について ② 新年互礼会報告 ③ 紙リサイクル出前授業について ④ 古紙の分別とリサイクルについて ⑤ 1月度業務委員会報告 ⑥ その他 ・今後の中部地区委員会等の開催予定
17日	(金)	東北地区委員会	① 報告事項 ・関東地区委員会報告 ② 古紙の需給・市況動向について ・古紙需給動向(製紙会社) ・古紙需給動向(古紙問屋) ・意見交換 ③ センター事業について ・令和4年度地区活動報告 ・令和5年度地区活動計画(案) ・令和5年度地区活動予算(案) ④ その他 今後の東北地区委員会等の開催予定
21日	(火)	財務委員会	① 令和5年度事業計画(案)について ② 令和5年度収支予算(案)について
		近畿地区委員会	① 古紙の需給・市況動向について ② その他 今後の近畿地区委員会等の開催予定
28日	(火)	第11回 関東地区委員会 (Web会議システム併用)	① 古紙需給動向(古紙問屋) ② 古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③ 古紙品質トラブル報告 ④ 集団回収感謝状贈呈実施要領における推薦基準の改定及びコロナ禍における運用基準の変更について ⑤ 関東製紙原料直納商工組合への「紙リサイクル関連団体表彰」について ⑥ その他 ○Webセミナー 録画配信2月28日(火)～3月27日(月) ・講演内容:インドネシア最新経済動向と進出日系企業の動向 ・講師:日本貿易振興機構(ジェトロ) 海外調査部アジア大洋州課 課長代理 山城武伸氏 ○全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト2022 ・表彰式:3月4日(土)14時00分 ホテルメトロポリタンエドモント *懇親会はなし ○今後の関東地区委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
3月	1日 (水)	2月度常任理事会	① 令和5年度事業計画(案)について ② 令和5年度収支予算(案)について ③ 令和5年度の収支予算における賛助会費の公益目的事業への充当について(案) ④ 紙リサイクル関係団体表彰について ⑤ 「全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト2022」の審査結果について ・表彰式:令和5年3月4日(土)14時 ホテルメトロポリタンエドモント ⑥ 経済産業省からの要請、国会での質疑、禁忌品啓発資料について ⑦ 令和4年度第7回業務委員会議事次第について ⑧ その他 今後のスケジュールについて
		第9回業務委員会 (Web会議システム併用)	① 各地区の古紙需給・市況動向について ② 紙リサイクル関係団体表彰について ③ 集団回収感謝状贈呈実施要領における推薦基準の改定及びコロナ禍における運用基準の変更について(2023年版) ④ 「全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト2022」の審査結果について ・表彰式:令和5年3月4日(土)14時 ホテルメトロポリタンエドモント ⑤ 経済産業省からの要請、国会での質疑、禁忌品啓発資料について ⑥ その他 今後の業務委員会等の開催予定
4日	(土)	全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト2022表彰式	① 表彰状・副賞・記念楯授与 ② 受賞者インタビュー ③ 記念撮影
9日	(木)	九州地区委員会	① 経済産業省からの要請、国会での質疑、禁忌品啓発資料について ② 古紙の需給・市況動向について ③ 古紙の品質問題について ④ 紙リサイクルコンテスト2022の応募結果と表彰式実施について ⑤ 令和4年度北九州市内小学生対象の紙リサイクルバスツアー研修会終了報告 ⑥ 令和5年度九州地区活動計画について ⑦ 令和5年度集団回収感謝状贈呈について ⑧ 令和5年度九州地区活動計画(案) ⑨ 令和5年度集団回収感謝状贈呈について ⑩ 集団回収感謝状贈呈実施要領における推薦基準の改定及びコロナ禍における運用基準の変更について ⑪ 海外関連トピックス ⑫ その他 今後の九州地区委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
3月	15日(水)	第3回国際委員会 (Web会議システム併用)	①古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ・古紙発生の現状及び見通し報告 ・国内製紙会社の古紙消費の現状及び見通し報告 ・古紙輸出に関するトピックス及び見通し報告 ②その他 ・古紙持ち去り行為撲滅対策について ・国際委員会委員の委嘱状について ・2023年度の古紙輸出に伴う賛助会費について ・紙リサイクルに関わるGHG(温室効果ガス)について
	16日(木)	北海道地区委員会 (Web会議システム併用)	①古紙共販集計表について ②古紙需給動向について ③古紙消費実績と計画対比表について ④北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ⑤古紙の消費量と在庫量の推移 ⑥情報交換 ⑦その他 ・令和5年度集団回収感謝状贈呈について ・令和5年度広報宣伝事業について ・令和5年度紙漉き小学校出前授業について
	17日(金)	中四国地区委員会	①製紙メーカーの生産状況・古紙入荷状況 ②各地区の古紙市況報告 ③質疑応答 ④その他
	22日(水)	3月度常任理事会	①通常理事会の事前打ち合わせ ・臨時評議員会の開催について(案) ・職務執行状況報告について(報告) ②50周年記念誌の作成について ③令和4年度第10回業務委員会議事次第について ・通常理事会の報告について ・古紙の需給・市況動向について ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022受賞作品集について ④その他 ・今後のスケジュールについて
		第44回理事会	①議案 第1号議案 令和5年度事業計画及び収支予算書(案)について 第2号議案 令和5年度資金調達及び設備投資の見込み(案)について 第3号議案 臨時評議員会の開催について(案) ②職務執行状況について
		第10回業務委員会 (Web会議システム併用)	①通常理事会の報告について ②古紙の需給・市況動向について ③全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022受賞作品集について ④その他 ・今後のスケジュールについて

月	日	会議名	主要議題
3月	23日(木)	第12回関東地区委員会 (Web会議システム併用)	①古紙需給動向(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④古紙持ち去り行為撲滅について ⑤経済産業省からの要請、国会での質疑、禁忌品啓発資料について ⑥その他 ○Webセミナー 3月27日まで録画配信 ・講演内容: インドネシア最新経済動向と日系企業の最新動向 ・講師: 日本貿易振興機構(ジェトロ) 海外調査部アジア大洋州課 課長代理 山城武伸氏 ○今後の関東地区委員会等の開催予定
		静岡地区委員会 (Web会議システム併用)	①経済産業省からの要請、国会での質疑、禁忌品啓発資料について ②古紙の需給・市況動向について ・古紙の市況動向・品質状況報告 ③事務局からの連絡事項 ・令和4年度活動報告(総括) ・集団回収感謝状贈呈実施要領における推薦基準の改定及びコロナ禍における運用基準の変更に について ・紙リサイクル出前授業の今年度実績と令和5年度の計画について ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022の審査結果について ・令和5年度第1回地区事業 委員情報・意見交換会の開催について ・令和5年度広報事業 フェア出展について ・大型連休期間中のメーカー各社古紙受け入れ計画の調査について ・今後の計画について
	24日(金)	第14回家庭紙委員会 (Web会議システム併用)	①古紙入荷・消費・在庫(2022年11月～2023年1月)古紙地域別入荷(同上) ②古紙の需給の現状及び見通しに関する意見交換 ○古紙の発生の現状、見通し、古紙輸出、トピックス等(古紙問屋より報告) ○メーカーの消費の現状及び見通し(メーカーより報告) ③古紙の品質に関する情報交換 ○メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 ④その他 ○紙リサイクルに関わるGHG(温室効果ガス)について ○次回以降の家庭紙委員会の日程について
	29日(水)	近畿地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②その他 今後の近畿地区委員会等の開催予定

編集後記

本号では、14 回目の開催となる全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2022 の審査結果及び表彰式の様子について掲載しました。

今年度の応募は過去最高に次ぐ 3,273 点（応募校：172 校）となりました。受賞作品のうち、文部科学大臣賞・金賞・特別金賞を受賞した 9 作品を掲載しています。次世代を担う小中学生の紙リサイクルへの強いメッセージがこめられた作品をぜひご覧ください。また、今年度は 3 年ぶりに都内ホテルにて表彰式を開催しました。表彰式の様子や受賞者へのインタビュー内容等を掲載していますのでこちらもぜひご覧ください。

来年度もコンテストを実施して参りますので、お力添えいただけますよう関係者の皆様をお願い申し上げます。

（武田）

地区委員会事務局

地区	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
北海道	060-0002	札幌市中央区北二条西2丁目 リージェントビル5階	011 (271) 1551	011 (232) 0017
東北	980-6003	仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル3階 日本紙パルプ商事（株）北日本支社内	022 (225) 3359	022 (261) 4522
関東	104-0042	東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階	03 (3537) 6822	03 (3537) 6823
静岡	417-0801	富士市大淵2590番1号 静岡県富士工業技術支援センター内	0545 (35) 5270	0545 (35) 5026
中部	450-0002	名古屋市中村区名駅3丁目25番9号 堀内ビル7階	052 (582) 1836	052 (581) 6943
近畿	541-0052	大阪市中央区安土町1丁目7番13号 トヤマビル7階 日本製紙連合会関西支部内	06 (6262) 6315	06 (6262) 6316
中・四国	799-0492	四国中央市三島紙屋町2番60号 大王製紙（株）内	0896 (23) 9124	0896 (23) 4411
九州	812-0011	福岡市博多区博多駅前4丁目13番27号 グランドハイツ博多314号	092 (292) 5381	092 (292) 5382

会報

news
LETTER

第49巻 第2号
2023年4月14日

発行所

公益財団法人古紙再生促進センター

〒104-0042 東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル 4F

電話 03 (3537) 6822 (代表)

ホームページ <http://www.prpc.or.jp>

発行人 川上 正智

印刷所 日本印刷株式会社

リサイクル適性[®]

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

古紙再生促進センターは紙リサイクルが担うSDGsの6つの目標を設定しました



公益財団法人 古紙再生促進センター

